

**主題：神の宮——神の永遠のエコノミーの目標としての、
召会の内在的な意義**

メッセージ 2

聖書：列王上 6:1-2. I コリント 3:16-17. エペソ 2:21. 啓 21:10-11, 22

- I. 神聖な啓示の高嶺とは、神が人と成ったのは人が神格においてではなく命と性質において神となり、キリストの有機的なからだを生み出し建造して、神のエコノミーを完成し、この時代を閉じ、キリストの再臨をもたらして、彼の王国を打ち立て、新エルサレムを究極的に完成するためであるということです——ヨハネ 1:12-14. I ヨハネ 3:1-2. ローマ 8:3. 12:4-5. 啓 11:15. 21:2-3, 22 :
- A. 神のエコノミーは彼の意図であり、ご自身を彼の神聖な三一の中で彼の選ばれ贖われた民の中に分与して、彼らの命また性質となり、彼らが彼であるのと同じになり、彼の団体の表現となるということです——I テモテ 1:4. エペソ 1:3-23。
- B. 聖書に記載されているような神のエコノミーとは、神が人と成ってわたしたちを命、性質、表現において神とし、わたしたちが神・人の生活を持ち、キリストのからだとなるということです——ローマ 8:3. 1:3-4. 8:4, 14, 29. 12:4-5 :
1. 神は彼の御子を遣わして人と成らせ、神聖な命によって神・人の生活を生きさせました——ヨハネ 3:16. 1:14. 6:57 前半。
2. この神・人の生活は、キリストと全く同じである宇宙的に偉大な人を生み出します。それは団体の神・人の生活、神聖な命による神・人の命であり、肉体における神の現れのためです——51 節後半. エペソ 4:24. I テモテ 3:15-16。
- C. 神がわたしたちを贖ったのは、わたしたちを命と性質において神とするためであり、それによって神はキリストのからだを持つことができます。キリストのからだは、神の拡大また表現としての新エルサレムにおいて究極的に完成し、永遠に至ります——エペソ 1:6-7. 4:16. 啓 21:2。
- D. 神でありしかも人である方は、人でありしかも神である者の中に住み、人でありしかも神である者は、神でありしかも人である方の中に住みます。こうして、彼らは相互の住まいです——ヨハネ 14:2-3, 20, 23. 15:4 前半。
- E. 神が人と成って人を神とならせてはじめて、キリストのからだは生み出され、建造されることができます。これは、神によってわたしたちに与えられた神聖な啓示の高嶺です——ローマ 8:3. 1:3-4. 8:14, 16, 29. 12:4-5。
- II. 神の宮は、神の永遠のエコノミーの目標です——エペソ 1:10. 3:9. I テモテ 1:4. ヨハネ 2:19-22. I コリント 3:16-17. エペソ 2:21. 啓 21:2, 22 :
- A. 旧約における宮は、個人のキリストと団体のキリスト、すなわち召会の両方を予表します——列王上 6:1-2 :
1. 宮はまず、地上での神の住まいである個人の、肉体と成ったキリストを予表します——コロサイ 2:9. ヨハネ 1:14. 2:19-21。
2. 宮はまた、拡大された宮、宇宙における神の唯一の建造である団体のキリスト、

召会を予表します。この拡大された宮は、キリストの拡大であり神の住まいとなるすべての信者、キリストの肢体たちを含みます——マタイ 12:6. I コリント 3:16-17. 12:12. エペソ 2:21。

B. 主イエスは彼の復活において、拡大された方法で神の宮を再建し、それを団体のもの、キリストの奥義的なからだとしました——ヨハネ 2:19-22 :

1. イエスの体である宮は、十字架上で壊され、小さく弱かったのですが、復活におけるキリストのからだは巨大で力強いのです——エペソ 1:22-23. 2:21-22. 4:16。
2. 主イエスは彼の復活の日から、彼の復活の命の中で彼のからだ、宮を拡大してきました。彼は今もなお働いて、復活の過程の下で彼のからだを建造しています——ヨハネ 2:19-22。

C. 召会は神の宮です。そのようなものとして、それは聖なる神の聖なる所、神の霊が住む宮です——I コリント 3:16-17 :

1. 16 節の神の宮は、ある地方における集合的な信者たちを指していますが、17 節の神の宮は、宇宙的にすべての信者たちを指しています。
2. 宇宙における神の唯一の霊の宮には、地上における多くの地方にその表現があります。それぞれの表現は、その地方における神の宮です——エペソ 2:21-22。

D. 新エルサレムに宮はありません。なぜなら、主なる神、全能者と小羊が、その宮であるからです——啓 21:22 :

1. 新天新地において、神の宮は拡大されて都となります。
2. 全体としての都は至聖所となります。ですから、その中に宮はありません——16 節。
3. 22 節の「宮」というギリシャ語の言葉は、内なる宮を意味します。この内なる宮は、主なる神、全能者と小羊です。

III. 神の宮は神の栄光で満たされています——歴代下 5:13-14. エゼキエル 43:1-5. ハガイ 2:1-9. 詩 29:9 後半. エペソ 2:21. 3:21. 啓 21:10-11, 22 :

- A. 主の栄光は、ソロモンによって建てられた宮を満たしました——歴代下 5:13-14。
- B. エゼキエルは、主の栄光が主の家を満たすのを見ました——エゼキエル 43:1-5。
- C. 千年王国で、家の後の栄光は、前の栄光よりも大きいのです——ハガイ 2:1-9。
- D. 神の宮としての召会の中で、神に栄光があります——エペソ 2:21. 3:21。
- E. 新エルサレム、永遠の宮には、神の栄光があります——啓 21:10-11, 22。
- F. 「彼の宮の中で、すべての者は『栄光！』と言う」——詩 29:9 後半。

IV. 神の栄光で満たされた神の宮を持つという神のエコノミーは、神聖な啓示の高嶺と関係があります。すなわち、神が人と成ったのは、人が命、性質、表現において神となるためであるということです——ヨハネ 1:14. コロサイ 1:27. 3:4. ヘブル 2:10. 啓 21:10-11, 22。